

<b>【教材名】</b> コロコロアート	<b>【領域・教科】</b> 生活単元学習	<b>【対象】</b> 中学部生徒
<b>【ねらい】</b> ・生徒が興味をもって見たり自分で持って動かしたりして、楽しみながら作品を作る。		
		
<b>○工夫した点</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・友だちと一緒に動かして、ビー玉の動きや模様のできる様子を追視して楽しめるように透明なファイルを使用した。</li><li>・視覚、聴覚に障害のある生徒には、手で持って見やすい位置で見えるように、またビー玉の振動を感じられるように重さや大きさを工夫した。また、自分で持って振る等の動きを期待して、箱の一面に感触の異なる素材を貼り付けた。</li><li>・生徒の実態に合わせ、ビー玉の代わりにキラキラ光るビーズを使用した。</li><li>・モールや紐をつけたりして、素材（ビー玉やビーズ）を見たり、触りたくなるよう、生徒の興味を引き出すようにした。</li></ul> <b>○使用方法</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・友だちと向かい合って一緒にビー玉の動きを追視しながら透明ファイルを動かす。</li><li>・ビー玉やビーズに触れたり、転がる様子を目で見て楽しむ。</li></ul>		
<b>○効果・改善点</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファイルを動かしてビー玉を転がそうとする主体的な動きが見られた。</li><li>・ビー玉に興味を持ちにくい生徒には、キラキラ光るビーズや紐を使用することで、自分から素材を見たり、触ろうとしたりする姿を引き出すことができた。</li><li>・見やすい位置でビー玉の動きを見たり振動を楽しむ姿が見られた。</li><li>・活動が単調になりがちのためBGM等を工夫し、メリハリをつける必要がある。</li></ul>		